



枚方の図書館を考
える講演学習会。
帝塚山大学中川教
授は「図書館は単
なる無料の貸本屋
ではない。市民の
学習・交流を支援
する施設」と強調。
(2・26 市民会館)

平和が いちばん

2017年 3月15日

第 117 号

平和で豊かな枚方を
市民みんなで作る会

市民と市役所が主体のまちづくりを

市長が17年度市政運営方針を発表しました。「人が集まるまちづくり」の第一として市駅周辺や香里ヶ丘地域の再整備をあげています。その整備をどのように進めていくか、現在進行形である香里ヶ丘図書館の進め方を検証しなければなりません。

この図書館の建て替えは企画から設計まで民間事業者へ委託し（プロポーザル方式）、完成後の運営は民営化（「指定管理者」に委ねる）するということです。民間業者への「丸投げ」の施設づくりと言わざるを得ません。この建物の所有者であり活用者である市民は、企画や設計に参加することさえ拒否されている状態です。また市役所も市民の声をまとめ上げて構想や設計に取り入れていくという役割を果たしているとは言えません。市民参加がないこのやり方では、市民は傍観者であり単なる利用者に過ぎません。

創り上げる過程から市民も参加して、より良いものをより安く知恵を出し合っていくのが本当のまちづくりです。愛着のある誇りを持てるまちづくりの基本です。施設建設にとどまらず、子育てから老後の保障まで貫かれる市民の政策への参画、その“市民力”の高さこそ市民の定着を高める原動力です。また市外から転入促進を得る道です。逆に、東京に本社がある会社が企画してつくるまちは、どこにでもあるまちづくりであり、単に「選ばれる」ことを願望するだけです。「選んで」移住してきたが「失望」すれば、それは「自己責任」で片づけられることとなります。

枚方が守り育てた文化を継承し、市民と市役所が練り上げた施策が隅々まで行き届くまちなら、改善・改革への参加もまた保障された市民自治のまちとして評判を高めることとなります。

直言

淀川対岸の産廃焼却場 とうとう反対やわ、わー！

北河内には楠葉村のあるおっちゃんのおつがやき

そらあかんで、高槻五領の梶原中村ちゅうたら、葦焼きで灰が飛んでくるあの鶴殿のすぐまだ風上やないか。風まともに楠葉へ来るがな！ほんでなにやる、つくるのんが市やのうて、都市クリエイトとかいう会社やる、楠葉でも、ようスーパーパーなんかのトレイやらプラゴミやら集めてんがな。そんなもん燃やしたらダイオキシン出るわな。なんぼ温度上げたかてゼロにはでけへんわな。そやから規制値ちゅうもんが定められとるわけや。それもやで、一日の処理高が96t切ったら、ダイオキシンの規制が十倍ゆるうなるんやてな、それがなやて、94.8tやと？会社はそんで楽かもしれんけど、その煙こうむんのん誰やねん、わしら風下の楠葉の人間やないけ。ただでさえ新名神で空気汚れるいうのに、踏んだりけつたりやないけ！うまいことよう言わんけどわしは反対やで。知らん間に川向うにそんなもんつくられてたまるか。駅の向かいすぐやないかいな。楠葉ちゅうたら今

特急も止まる一大住宅街や、すぐ丘の上の男山団地かて西日本で三番目の規模の団地やで。五七〇〇世帯か？そんなこの風上にようそんな危ないもんつくろちゅうなあ！なに考えとんねん。煙突が三〇mやろ、ほんなら国のアセスメント指針で言うたら三〇m以内調べなあかんがな、三〇m以内なら楠葉みな入ってしまがな。それを何やて、ちよこちよこつと一〇m以内だけ調べてお茶濁さいうんやろ。話にもならんで、そら。ほんで、どないしたら止められんねん？おう、おう、署名かいな、用紙どこにあんねん？また配るんかい？おう、おう、ほな書いて集めてる所へ持って行ったらええんやな？ほれから？要望書も上げるんか、どこへやい？枚方市長から高槻市へか、まあそやろな。誰が上げるねん？おう、自治会なあ、説得力あるわな、住民からがええわな。わかった、どないなつとるんか、うちの自治会にも聞いてみるわ。胡桃 館雄

手塚たかひろ 議員日誌



2月22日 **4市リサイクル組合議会に出席** リサイクル組合は枚方・寝屋川・交野・四条畷、4市のプラスチック容器ごみの収集、再利用への処理を行っている。組合議会は4市の議員13名で構成されている。一般の議員へは毎月12000円年間14万4000円の報酬が、各市の議員報酬とは別に支給されている。報酬の上乗せだ。組合議会も議員としての活動の一環であり、支給の廃止をすべきだと提案した。各市議会、組合議会での議論を起す必要がある。

2月24日 **本会議開会** 市長が市政運営方針を提案。市民協働と言いながら地域コミュニティ協議会以外の市民との協働が抜けている。香里ヶ丘図書館建て替えも市民と協働での視点が無い。美術館問題の教訓が忘れ去られている。市長公約の少人数学級の実現が投げ捨てられたのかまったく触れられていない。いじめ、学力、など教師が子どもに寄り添うことが必要だ。そのためには教員増で少人数学級の実現しなければならない。困窮者などへ行政の責任で必要な支援をする視点の欠如も問題だ。市民とともに暮らしやすいまちづくりへ議会内外で声を上げ続けたい。

2月26日 **「世界がひろがる枚方の図書館」集会** 中川郁郎帝塚山大学教授の講演を聞く。「①ただの貸本屋ではない、②市民が求める情報を案内する、③市民の課題研究を案内する、④市民の学習を支援する、⑤市民と職員、市民同士の交流を支援する」ことが公立図書館の役割。指定管理者制度や民間委託はなじまないことを明快に語られた。国の地方財政審議会は昨年12月「教育、調査研究、子育て支援といった政策的な役割を有して民間委託等が進んでいないものについては、トップランナー方式導入は適当でない」と言っている。図書館への指定管理者導入はなじまないことを国も認めた。何が何でも図書館にこの制度を導入しようとする枚方市は異常だ。

3月8日 **紹介議員として政務活動費廃止の請願を提案** 枚方市議会議員は議員報酬年間約1100万円を支給されている。議員活動、政務活動、これで十分にできるはず。それに上乗せして年84万円の政務活動費はいらない。廃止すべきとの市民の声が議会で議論される。議会での多数派獲得には壁はあるが、市民の声が大きくなれば廃止は可能だ。粘り強い運動を継続しよう。

2月23日 2月分議員報酬から219,600円を大阪法務局に供託 **私は政務活動費を一円も受け取っていません。**

ホッと タイム

「政務活動費」は廃止です

松田久子



3月10日、議会で政務活動費の廃止を求める請願の陳述を行いました。昨年、政務活動費報告書を読みました。その際、議会事務局は報告書のチェックを3回行っていること、繁忙期には19人の職員が、恐らく残業も行いながらその仕事にあたっていることを聞き、大変な労力と人件費が費やされているのだと知りました。その労力とお金はもっと市民の生活の方に向けて欲しいと思いました。その上、政務活動費は今も不祥事のニュースがあとを絶ちません。私的な使い道との境界が難しく、議員活動と言えど何でも通ってしまう危険性を感じています。私たちは仕事のため書籍や雑誌、また携帯電話やパソコン等、自費で購入するのが当然です。議員は年間1100万円という高い議員報酬をもらっているのですから、十分そこから議員活動の費用を捻出することは可能だと思います。この政務活動費を廃止すれば、1人年額84万

円、32人の議員で2680万円の予算

が他に回せるわけです。この廃止こそ「身を切る改革」ではないでしょうか。

この強い思いから今回の陳述に臨んだのですが、議場では請願趣旨の「(政活費は)もともと正当性に欠けている」という文言の議論に終始し、廃止を求めている具体的な理由についてはほとんど議論されませんでした。またある議員は「なぜ枚方市に請願を出したのか。国が決めているのだから国に出すのが筋だろう」という趣旨の発言もあり、私たちの税金が使われている枚方市の政務活動費について市民が声を上げることを封じようとする印象を受けました。請願は否決されましたが、それ以上に議員が市民を威圧しようとする姿勢にショックを感じた委員会でした。

これからも政活費廃止の声を引き続き上げていきます。

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場“ひこばえ”

TEL&FAX

072-846-8780

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 黒田 薫 (平和都市枚方を考える市民の会)

鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)

奥村 秀二 (弁護士)

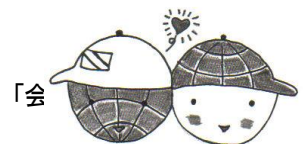
おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)

事務局長 手塚 隆寛 (枚方市会議員)

スタッフ 松田 久子 (「すずらんの集い」代表)

メールアドレス : hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp

ホームページ : <http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会